

ふるさと福井を愛する心を育てる ～福井国体への取り組みを通して～

越前市吉野小学校

1 はじめに

今年度は、50年に一度の「福井しあわせ元気国体」が開催された。吉野地区にある丹南スポーツ公園も軟式野球の会場となり、全国の方々が集まってくる競技会場が学校から歩いて行ける場所に位置していた。そこで、この機会を児童の福井を愛する心を育てる絶好の機会と捉え、5年・6年が福井や国体のPR活動に取り組むこととした。以下に、その取り組みを紹介する。

2 5年 総合的な学習 「福井の良さを発信しよう」での取り組み

(1) ねらい

- ・「福井しあわせ元気国体」に様々な形で参加していくことを通して、ふるさと福井の良さを知る。
- ・国体観戦に来られた県内外の方に、自分たちの活動を通して、福井の良さを知ってもらう。

(2) 活動概要

①「福井しあわせ元気国体」について知ろう。

- ・国体の歴史を調べる。
- ・各市町でどんな競技が行われるか調べる。
- ・国体閉会式への参加（10月9日）

②福井県の市町の良さをパンフレットにしよう。

- ・県内17市町を、特産物・観光名所・偉人の項目で調べ、グループに分かれてパンフレットにまとめる。

観光名所には住所や連絡先を載せたり、コメントを付けたりして、読み手を意識して作成。



【国体閉会式への参加】



③福井県の良さをPRしよう。

- ・軟式野球会場（丹南総合公園）で、観戦者に手作りパンフレットを配布する。



【パンフレット設置コーナー】



【パンフレット配布の様子】

- ・フェンシング会場（越前市AW-Iスポーツアリーナ）にパンフレット設置コーナーを設け、観戦者に持ち帰ってもらう。

(3) 成果

「福井しあわせ元気国体」が開催され、県全体が国体一色となった今年度、国体を核として、ふるさと福井を知るという活動に取り組んだ。国体観戦者にパンフレットを配布して福井をPRしようという

ことをめあてにしたことで、児童は、相手意識を明確にし、主体的に福井について調べ、どのようなパンフレットがより福井の良さをPRすることにつながるのか、試行錯誤しながら作成することができた。

また、実際に競技会場に出向いて、パンフレットを配布する活動では、様々な方と直にコミュニケーションを取りながら、臨機応変に対応することの難しさや、うまく相手にパンフレットを渡すことができた時の喜びを体験することができ、ふるさと福井に対する児童の思いがより強まったものと思われる。

3 6年 総合的な学習「We are 福井観光大使！」での取り組み

(1) ねらい

ふるさと福井の魅力を発見し、発見した魅力を県外の人に伝える活動を通して、ふるさと福井に誇りを持ち、ふるさとを愛する心を養う。

(2) 取り組みの実態

福井の魅力を発見する活動を行い、調べ学習を進めていくうちに、自分たちが調べた福井の魅力を県外の人に伝えたいという思いが強くなっていった。そこで、9月21日（金）に修学旅行で大阪府箕面市立萱野小学校を訪問し、福井の魅力を伝えることとした。ここでは、①「福井の観光」②「福井の食」③「福井の生活」④「福井国体・学校紹介」の4つのグループに分かれて発表を行った。子どもたちは、言葉で説明してもわからないところは具体物を作ったり、写真を用意したりしてわかりやすく伝える工夫を行っていた。

①福井の観光

②福井の食

③福井の生活



発表の後には、今年度で開催された福井しあわせ元気国体の「はびねすダンス」を萱野小学校児童と一緒に踊るなど、最後まで福井の魅力を全力でアピールすることができた。

(3) 成果

大阪の公立小学校を訪問し交流学習を行えたことは、県外の人が福井をどう見ているのかを実感できたと同時に、ふるさと福井の魅力を県外の人に直接伝えられた充実感を得ることができた。児童が明確な発表の目的を持ったことで、発表内容に工夫を凝らすこともできた。大阪の小学生から、「福井に行ってみたいです。」という感想を聞くことができ、大変満足気であった。